

# 新交通システム走行音の防音対策例

近年、橋梁や新交通システムのレール、建築機械等の騒音問題が多く発生している、大型構造物等に用いられている構造部材は、制振対策が効きづらく、有効な対策がありませんでした。

このような構造部材の中には、中空構造をしたものがあり、この点に着目して、制振性を付与した注入型発泡ウレタンを開発、新交通システムのレール部に注入発泡させ、騒音低減を実現いたしました。使用条件が過酷な屋外での大規模構造物への制振対策を実現した防音対策事例です。

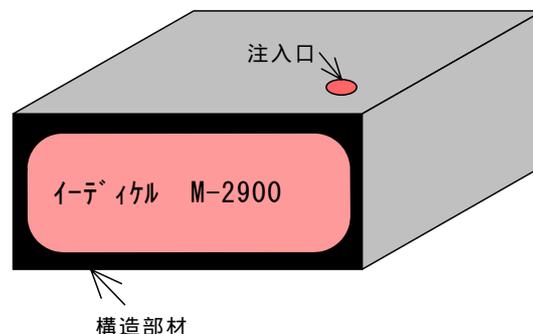
## 目的

- ◇ 新交通システム走行音への近隣住民のクレーム対策。
- ◇ 屋外での防音対策に耐える制振対策。
- ◇ 現場施工が可能な工法。



## 対策概要

- ◇ 新交通システムのレール部の上部に注入孔をあけ、イーディケル M-2900 発泡型ウレタンフォーム（ポリオールと発泡剤）を混合注入し構造部材中で発泡・充填させる。
- ◇ 現場（地上 10m）で施工。



## 効果

- ◇ 施工前に 54 d B あった走行音が施工後は 49 d B に低減された。
- ◇ 近隣住民からのクレームが解消した。

